

「きのさき見て歩き」を開催しました

実施日 2023年11月2日(木) 9:30~13:30 (天気: 晴れ)

講師 坂田 文一郎氏 (城崎文化協会会長)

内容 「極楽寺と温泉寺の境内巡り」

【集合・出発式】



行程説明の後、坂田先生に挨拶をしていただきました。

【弁天山】



弁天山に登り、「温泉寺縁起」の朗読と講師の解説を聞きました。奈良の長谷で未完のまま海に流された観音像が観音浦（今津下谷）に流れつき、城崎に湯治に来ていた仏師、稽文に発見されました。稽文から観音像を託された道智上人は、寺を建てたいと思い像に祈願しました。すると、ある夜、観音像の眉間から光が出て一点を照らします。道智上人はそこにお寺を建て、観音像を安置しました。そのお寺が、現在の温泉寺です。

また、稲荷神社横にある宝篋印塔には、平の盛継の伝説があり、講師から気比地区に伝えられている盛継伝説と併せて解説を聞きました。

【まんだら湯】



まんだら湯の前で講師の解説を聞きました。温泉寺の開祖である道智上人が、曼荼羅経を唱え祈願していたところ、一千日目温泉が湧き出したと伝えられています。

【極楽寺】



極楽寺では、西垣前住職に極楽寺について話をいただきました。
極楽寺は、約 630 年前に金山と呼ばれる禅師が創設したと伝えられています。
出石の宗鏡寺を建てるついでに、極楽寺も建てられた…という話もあるそうです。

【温泉寺】



温泉寺では、小川住職に温泉寺について話をいただきました。
温泉寺の千手観音は、木造で実際に千本の手を持ったもので、現在も 834 本の手が残っています。元々は山頂にある千手堂に置かれていたもので、千手堂が古くなり、温泉寺に下ろされた時は置くところがありませんでしたため、天井裏に置かれていたそうです。

寺内の見学では、江戸中期に描かれた「温泉寺縁起図」を見せていただきました。弁天山で解説を聞いた温泉寺縁起を誰にでもわかりやすく説明するための絵解きとして使われており、温泉寺の縁起がより理解できました。また、本堂においては、秘仏とされている温泉寺のご本尊「十一面観世音菩薩」や「四天王立像」の説明など、興味深い話を沢山聞かせていただきました。

最後に本堂横の階段を上がり、多宝塔・宝篋印塔・龍照和尚の指頭文字を講師の解説を聞きながら見学しました。

温泉寺参道下山後、13 時 30 分頃解散しました。